

「かながわグランドデザイン 第2期実施計画 点検報告書（素案）」に  
関する県民参加意見等の概要

「かながわグランドデザイン 第2期実施計画 点検報告書（素案）」について、県のホームページで公開するとともに、県施設への配架や県のたよりに掲載するなど、積極的な情報発信を行いました。また、点検報告書（素案）の概要をコンパクトにまとめた概要版パンフレットを作成し、県政情報センター等への配架により幅広い情報提供を行い、多数のご意見・ご要望をいただきました。

- 募集期間：平成30年12月21日（金）～平成31年1月21日（月）
- 提出方法：手紙、ファックス、Eメール等
- 意見の件数：138件（うち個人125件、市町村13件）  
（分野別の件数）

分野	件数	分野	件数
エネルギー・環境	9件	教育・子育て	14件
安全・安心	12件	県民生活	33件
産業・労働	25件	県土・まちづくり	23件
健康・福祉	16件	計画全般（その他）	6件
合 計			138件

- 「かながわグランドデザイン 第2期実施計画 点検報告書（案）」への  
県民参加意見等の反映箇所一覧（抜粋）

No	意見要旨	対応・反映状況
1	<p><b>【エネルギー・環境】</b> 食品のリサイクルは重要な問題であると考えます。なぜなら、日本の食品廃棄率は異常に高いからです。ロスになった食品をただ捨てるのではなく、家畜の餌にするなどそういった方法があることを広く周知させていくことは大きな意味があると思います。</p>	<p>[PJ22・環境] ⇒「今後に向けた検討事項」に反映しました。 資源循環・適正処理の推進に向けた取組みは着実に進んでいるものの、資源生産性を高める取組みの更なる強化が課題です。レジ袋や食品ロスなどの削減に向けた普及啓発、かながわりユースショップの認証の普及、食品関連事業者における自主的な再生利用の促進を行うとともに、産業廃棄物多量排出事業者及び製造業における3Rの促進を図る必要があります。</p>
2	<p><b>【安全・安心】</b> 高齢化により治安が心配です。町に人がいなくなってしまうため、犯罪の抑止力が下がってきていると思います。</p>	<p>[PJ12・治安] ⇒「今後に向けた検討事項」に反映しました。 地域で防犯活動を行う人材の裾野の拡大や、市町村、自主防犯活動団体、新たな防犯人材などとの間で情報共有、連携を強化するためのネットワーク作りなどを通じて、地域が主体的・継続的に防犯力を向上させる必要があります。</p>

3	<p><b>【産業・労働】</b>          県内は、不便なことがなくとても住みやすいです。しかし、就職活動となると主に東京都に本社がある企業を考えてしまいます。県内で生まれ、育ち、働くために、県内に本社がある企業を増やしてもらいたいです。</p>	<p>[PJ6・産業創出]          ⇒「今後に向けた検討事項」に反映しました。          本県経済の活性化と雇用の創出のためには、県外・国外からの企業誘致や県内企業の更なる投資の促進が重要であることから、県全域で企業立地が進むよう、引き続き企業誘致に取り組む必要があります。</p>
4	<p><b>【健康・福祉】</b>          「未病」は高齢社会へ対応するためのいい取り組みだと思えます。ただし、認知度はそれほど高くないと思うので、更に周知すべきだと思えます。また、若い人へは SNS などを利用して、若い頃から「未病」を意識することが重要だと思えます。</p>	<p>[PJ1・未病]          ⇒「今後に向けた検討事項」に反映しました。          引き続き、企業・団体等と連携して未病改善の普及啓発を行うとともに、未病センターなどを活用しながら、これまで以上に県民の健康意識の向上や、行動変容につなげていく必要があります。          健康への無関心・無行動層への効果的なアプローチにより、未病改善の取り組みをいっそう県民に浸透させ、さらに、市町村の実施する健康施策につなげていく必要があります。</p>
5	<p><b>【教育・子育て】</b>          将来の仕事と子育ての両立について不安があります。</p>	<p>[PJ13・男女共同参画]          ⇒「今後に向けた検討事項」に反映しました。          生産年齢人口が減少していく中、誰もが働きやすい環境づくりを進めるため、女性の活躍を推進するとともに、テレワークなど働く場所・時間にとられない働き方も含め、ワーク・ライフ・バランス推進に向けた取り組みを実施していく必要があります。          [PJ14・子ども・青少年]          ⇒「今後に向けた検討事項」に反映しました。          地域住民や学校、NPO、民間企業、団体等が協力し、地域で子育てを応援する仕組みの充実を図る必要があります。</p>
6	<p><b>【県民生活】</b>          東京オリンピックが盛り上がっているが、終了後もスポーツが盛り上がり続けるようになるといいと思います。</p>	<p>[PJ16・スポーツ]          ⇒「今後に向けた検討事項」に反映しました。          本県で開催される東京 2020 オリンピック競技大会などを一過性のイベントとするのではなく、スポーツの普及推進等につなげていく必要があることから、これらを契機としたスポーツ施設の再整備や競技力の向上、生涯にわたるスポーツ活動の推進など、大会後にもつながるレガシーの創出に取り組む必要があります。</p>

7	<p><b>【県民生活】</b> PJ19に、「大学等8箇所への留学生支援拠点の設置」とあるが、支援拠点について説明が必要だと思います。</p>	<p>[PJ19・多文化共生] ⇒「主な取組みと成果」に反映しました。 大学等8か所に留学生の生活面、学習面、就職面の支援を行う拠点を設置し、留学生が相談しやすい環境をつくり、また、教育期間、企業、経済団体、留学生支援団体等から構成される「かながわ留学生支援コンソーシアム」を設立し、留学生支援体制を強化しました。</p>
8	<p><b>【県土・まちづくり】</b> 地域活性化における移住相談は良いと思いますが、その先のサポートも含めて考えていった方がよいのではないかと思います。</p>	<p>[PJ18・地域活性化] ⇒「今後に向けた検討事項」に反映しました。 移住促進については、段階的な移住・交流に対する取組みが必要とされているため、地域と継続的な関わりを持つ「関係人口」を創出する取組みを、市町村と連携して推進する必要があります。</p>
9	<p><b>【県土・まちづくり】</b> PJ18に、「・・・民間事業者や大井町と連携して、・・・」との記載があるが、県西地域としての取組みであるならば、県西地域全体として連携していく必要があるのではないのでしょうか。</p>	<p>[PJ18・地域活性化] ⇒「今後に向けた検討事項」に反映しました。 県西地域においては、「未病の改善」をキーワードとした活性化が引き続き求められており、「未病いやしの里の駅」や「県西未病観光コンシェルジュ」も有効活用しながら、第1期オープンを迎えた「未病バレー『BIOTOPIA（ビオトピア）』」のさらなる集客をめざし、民間事業者や大井町をはじめとする県西地域の市町と連携して、認知度向上を図る必要があります。</p>